

# かわさきパラムーブメント推進！ かわさきプロジェクト 取組事例 1/2

## 1 日本オリンピック委員会（JOC）とのパートナー都市協定締結

スポーツ振興

### 【事業概要】

オリンピックムーブメントの推進・国際競技力向上に向けて連携・協力体制の充実・強化を図ることを目的として本市と JOC は平成27年3月30日にパートナー都市協定を締結しました。本市は、東京2020大会招致後では初となる18都市目となります。



### ○協定の内容

- ・JOC加盟団体への施設提供
- ①川崎市とどろきアリーナ
- ②等々力陸上競技場
- ③川崎富士見球場
- ④川崎マリエンビーチバレーコート
- ・スポーツ振興のため本市のスポーツ教室等に協力



トップアスリートの就職を支援するJOC主催事業「アスナビ」川崎開催(2015.4.16)

## 2 大規模スポーツ大会等の開催

スポーツ振興

ひとりづくり

### 【事業概要】

国内唯一の国際陸上競技大会「セイコーゴールデンランプリ陸上2015川崎」が3年ぶりに等々力陸上競技場で開催されました。この大会では、初のパラリンピック種目を取り入れたほか、午前中に市内小学生と市内障害者陸上クラブが参加したサブイベントを実施しました。



### ○ゴールデンランプリ陸上

2016川崎の概要 **NEW!**

- ・開催日：平成28年5月8日（プレイベント4/3）
- ・開催場所：等々力陸上競技場
- ・市内障害者の陸上団体等の参加によるイベントやパラリンピック種目のデモンストレーションを実施
- ・パラリンピック選手との交流

## 3 パラリンピックの支援に向けた等々力陸上競技場の活用（Xiborg(サイボグ)×かわさき）

スポーツ振興

### 【事業概要】

義足の研究開発に取り組む遠藤謙氏、元五輪陸上選手の為末大氏らを中心とした競技用義足の研究や開発を行うプロジェクト「Xiborg」と連携した取組として、「Xiborg」のチームに所属する3人の義足のトップアスリートをはじめ、パラリンピアンらの練習場所として、等々力陸上競技場の活用を進めています。



### ○活用方法

- ・平成27年5月以降、月1回程度（土曜日・日曜日いずれか）Xiborg 所属アスリートが地元障害者スポーツ団体と共用で練習場所として利用
- ・地元の障害者陸上クラブの練習場所や近隣都市と全国障害者スポーツ大会に向けた合同強化練習場所としての利用

## 4 パラリンピックの支援に向けた民間施設の活用（メガロス×かわさき）

スポーツ振興

### 【事業概要】

宮前区有馬にあるスポーツクラブから、本市を通じて、パラリンピックを目指すアスリートに施設を無償提供したいとの提案を受け、本市と協定を締結し、活用を進めます。



### ○協定締結

平成27年9月1日

### ○活用方法

水泳：ジャパンパラ、全国障害者スポーツ大会等の全国レベルの水泳大会、パラリンピック等の国際大会を目指す選手の練習場所としてプールを活用する。  
ボッチャ（パラリンピックの正式種目）：全国ランキングで上位に位置する選手の練習場所としてスタジオ等を活用する。

先行事例：[富士通プール] 障害者（身体・知的）の強化練習場所として活用（日曜日の午後1時間半）

## 5 地域における障害者スポーツ普及促進事業（かわさきインクルージョンモデル）

スポーツ振興

ひとりづくり

### 【事業概要】

スポーツ庁モデル事業（国からの受託事業）として、地域のスポーツ・障害者福祉関係者等による実行委員会を立ち上げるとともに、障害者スポーツ普及のための体制づくり（ボランティアの育成）や、ノウハウ作成に関する実践研究、広報活動などの取組を行います。



### ○事業実施期間

平成27年度から3年間

### ○事業費

平成27年度5,020千円

### ○イベント開催

・平成27年度

「たかつde笑顔ファミリースポーツ縁日」、「たかつチャレンジドカップ」を開催

### ○その他

高津総合型地域スポーツクラブSELFが実行委員会ワーキンググループを運営

## 6 市障害者スポーツ協会の設立

スポーツ振興

### 【事業概要】

障害者スポーツのさらなる普及・発展を目的として、川崎市身体障害者協会内に川崎市障害者スポーツ協会を設立しました。

また、同協会の設立とともに、日本障がい者スポーツ協会や市スポーツ協会に登録し、関係団体との連携の強化を図ります。

### ○川崎市障害者スポーツ協会

- ・設立：平成27年10月
- ・加盟団体：現在市内で活動するボッチャや陸上など10団体が加盟

### ○活動内容

- ・加盟団体の支援
- ・指導者等の育成
- ・各種調査研究事業
- ・競技物品等の貸出事業等



## 7 障害者スポーツイベント等の開催

スポーツ振興

ひとりづくり

### 【事業概要】

「かわさきパラムーブメント」につながる取組として、障害の有無に関わらず楽しむことができるスポーツイベントや、スポーツに親しむ事業について実施に向けた検討を進めています。

### ○カワサキ・ボーダーレス・スポーツ・フェスタ Vol.2（川崎市イメージアップ認定事業として実施）

- ・開催時期：平成28年3月21日
- ・会場：宮前区スポーツセンター
- ・主催：NPO法人ファンズアスリートクラブ
- ・内容：体感型スポーツイベントによる、障害者スポーツの普及促進



アンプティサッカー（昨年のフェスタの様子）

### ○検討中の取組

- ・障害の有無に関わらず、気軽にスポーツに親しむことができる場、（仮称）誰でもスポーツひろばの開催
- ・開催時期：平成28年度から **NEW!**
- ・開催場所：富士通スタジアム川崎など
- ・運営：川崎市障害者スポーツ協会

## 8 障害者スポーツ大会等の開催

スポーツ振興

### 【事業概要】

障害者スポーツの普及促進に向けて、全国規模の障害者スポーツ大会の定期開催や日本代表チームの合宿等の誘致を進めています。

### ○全国スペシャルトランポリン交流大会（主に知的障害）

- ・開催日：平成27年3月28日・29日
- ・開催場所：多摩スポーツセンター

### ○第5回日本アンプティサッカー選手権大会

- ・開催日：平成27年11月22日・23日
- ・開催場所：富士通スタジアム川崎

### ○第17回ジャパンデフバレーボールカップ

- ・開催日：平成28年2月26日～27日
- ・開催場所：とどろきアリーナ

### ○ブラインドサッカークラブ選手権2016

- ・開催日：平成28年3月26日・27日
- ・開催場所：富士通スタジアム川崎

### ○第6回日本アンプティサッカー選手権大会 **NEW!**

- ・開催日：平成28年度調整中
- ・開催場所：富士通スタジアム川崎



# かわさきパラムーブメント推進！ かわさきプロジェクト 取組事例 2/2

## 9 ダイバーシティのまちづくりの推進 ひとづくり

### 【事業概要】

ピープルデザインの考え方を活用したダイバーシティのまちづくりに向けた取組として、市内スポーツイベントや映画の試写会の場などで福祉施設に通う障害者の方々の就労体験を実施するなど多様な人々が混ざりあう取組を実践・事業を展開します。



○スポーツイベントなどでの就労体験や清掃活動の実施

・川崎フロンターレホームゲーム、多摩川マラソン、川崎ハロウィン映画上映、音楽イベントなど

○市若手職員を対象としたマイノリティの方々の課題解決に取り組むピープルデザインゼミの開催



## 10 福祉課題を解決するウェルフェアイノベーションの推進 課題解決モデル

### 【事業概要】

高齢者・障害者の外出機会の拡大や住む人・来る人にやさしく、未来につながるまちづくりという福祉のまちづくりの視点から、ウェルフェアイノベーションの取組を進めます。また、かわさき基準認証福祉製品の充実及びウェルフェアイノベーションフォーラムを活用した取組を進めます。



○福祉製品のかわさき基準認証  
○UD タクシーを活用した工場  
夜景ツアーモデル事業

○商業施設等のバリア解消に向けたフィールドワーク  
(平成 27 年度実施施設)

・川崎信用金庫本店  
・川崎市産業振興会館



## 11 多言語対応による情報発信 まちづくり

### 【事業概要】

グローバル化に伴い増加が見込まれる外国人ビジターや外国人市民が快適・円滑に移動・滞在できる環境整備に向け、現在、公共サインの整備に関する考え方を取りまとめています。また、Wi-Fi のアクセスポイントを増やすことなどにより観光客だけでなく市民にとっても利便性の高いまちづくりに向けた取組を進めます。

○公共サイン整備に関するガイドライン作成予定

○東京都多言語対応協議会との連携

○Wi-Fi 環境の充実に向けた取組



## 12 シティプロモーションの推進 都市の魅力向上

### 【事業概要】

本市が持つさまざまな魅力を積極的に国内外に向けて発信し、本市の新たなブランドイメージの浸透を図る取組を進めます。かわさきパラムーブメントの取組と連携しながら東京 2020 大会の開催をこうした取組を進める絶好の機会として活用し、都市ブランドのイメージを一気に押し上げていきます。

○取組事例

- ・「市政だより」リニューアル
- ・ロゴマークづくり
- ・ブランドメッセージの発信
- ・イメージアップ認定事業の実施
- ・新春番組でのかわさきパラムーブメントの取組紹介



市政だより 平成 28 年 1 月 1 日号

## 13 かわさきパラムーブメント推進フォーラムの設置 ひとづくり

### 【事業概要】

かわさきパラムーブメント推進フォーラムは、庁内の推進体制との連携組織として設置したものです。東京大会に向けて、本市はどのようなレガシーを目指していくか、そのためにどのような取組を進めるべきか、専門的あるいは市民の視点から助言をいただき、「かわさきパラムーブメント」を新しい社会を市民と共に創る運動として展開していくため、フォーラムのご意見を活かしながら、多様な主体の連携協働によるプロジェクトづくりも進めていきます。



○フォーラム概要

- ・委員長：市長、共同委員長成田真由美さん
- ・顧問：JOC 日比野事務局長、JPC 中森事務局長
- ・委員：民間企業、NPO 法人、市出資法人等で構成
- ・開催：平成 27 年 10 月 19 日、平成 28 年 2 月 15 日
- ・その他：プロジェクト推進に向けた分科会を開催

## 14 かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定 ひとづくり

### 【事業概要】

「かわさきパラムーブメント」の考え方にに基づき、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくこと、また、東京 2020 大会に向けた本市の取組の方向性や目指すレガシーを市民と共有することを目的に、推進ビジョンを策定し、ムーブメントづくりに向けた周知を図ります。

○推進ビジョンのコンセプト

- ・「かわさきパラムーブメント」のコンセプトを市民に伝える
- ・本市が目指すレガシーの明確化
- ・本市の取組とフォーラム委員からの提案を掲載
- ・本市のブランディング戦略ツールとして活用

2016 年度～  
第 1 期推進期間

フェーズ I  
「開催につなげる取組期間」

2018 年度～  
第 2 期推進期間

フェーズ II  
「大会を成功させる取組期間」

2020 年度～  
第 3 期推進期間

フェーズ III  
「未来につなげる取組期間」

## 15 ホストタウン構想の取組 ひとづくり

### 【事業概要】

「ホストタウン構想」は、全国の自治体とオリンピック・パラリンピック参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国、共生社会の実現、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、政府が推進するものです。

本市は英国を相手国とするホストタウンとして、事前キャンプの受け入れや関係者と市民との間でスポーツ、文化、教育、産業などさまざまな分野で交流を行います。

○国への登録（第 1 次）

- ・平成 28 年 1 月 26 日
- ・申請 69 件、登録 44 件

○国からの支援措置

- ・特別交付税措置：対象取組経費の一般財源の 2 分の 1
- ・施設改修に係る地方債措置：地域活性化事業債(充当率 90%、交付税措置率 30%)の対象など



## 16 英国オリンピック委員会（BOA）の事前キャンプ受け入れ 都市の魅力向上

### 【事業概要】

BOA から事前キャンプ地の提案を受けた本市は、等々力陸上競技場を提供することを決定しました。また、BOA は横浜市においても事前キャンプを行うことから、両市では、この機会を捉え市域を越えて相互に連携しながら、英国代表選手団を受け入れるとともに、市民と英国代表選手の交流をはじめ、さまざまな分野での幅広い交流の機会を通じたレガシーの創出を目指していきます。

また、本市ではパラリンピックに出場する代表選手についても受け入れに向けた取組を進めます。

○BOA との覚書締結

- ・日時：平成 28 年 2 月 8 日
- ・場所：味の素ナショナルトレーニングセンター



IA-JOC-Yokohama-Kawasaki-Keio 1 MOU Signing Ceremony To 2020 Olympic Games

